

議案の審議結果(その2)

付託先略称 即：委員会付託を省略し本会議で採決 総：総務企画委員会
厚：厚生文教委員会 予：予算特別委員会

	付託先	賛成 × 反対 △ 退席						議決結果
		会派名(人数) 議長は除く						
		自由民主(5)	みどりの風(5)	公明党(4)	日本共産党(4)	小井井民主党(3)	改革連合(1)	
第4回定例会	公益法人への小金井市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	総						原案可決
	教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	即			△			同意
	小金井市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例及び職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	総			△			原案可決
	平成20年度小金井市一般会計補正予算(第7回)	予						原案可決
	平成20年度小金井市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	予						原案可決
	平成20年度小金井市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	予						原案可決
小金井市私立幼稚園等園児保護者補助金の交付に関する条例の一部を改正する条例(議員提案)	厚	×	1 ×4	×		×	×	否決

一般質問 (3ページ~6ページ)

11月30日・12月2・3日

原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

会派の略称

- (自由民主)自由民主クラブ
- (みどりの風)みどりの風
- (公明党)小金井市議会公明党
- (日本共産党)日本共産党小金井市議団
- (小金井民主党)小金井市議会民主党
- (改革連合)改革連合
- (民主党市民)民主党こがねい市民会議

(仮称)市民交流センターに命名権の導入を



高木真人(自由民主)

未曾有の世界不況により財政状況が厳しくなりそうです。その状況下で市税収入増の提案をします。武蔵小金井駅南口駅前一等地に建設中の文化ホールは、支障物件も取り壊しが決まりました。いつ竣工予定となりましたか。

市民部長 平成22年秋、10月頃を予定しています。高架完成後の下りホームからの視界も透明板の利用で良好であり、しかも一日約30万人の通過客があります。また、北壁は約200㎡の広さがあり企業にとっては宣伝効果が期待できます。2年前、渋谷公会

堂はCクレモンホールと命名され、年間8千万円、5年間4億円で締結されました。伝統、規模こそ違えど立地条件は抜群ですので、大物アーチストを招聘できれば価値が上がるはずですが。

市民部長 多くの著名なアーティストに出演頂けると考えています。命名権も導入する方針であります。

この他に、「東小金井駅の駅名変更」は、市の潜在的な魅力の向上に繋がります。商業振興、街づくりに貢献でき、結果として市税収入増になるという観点で質問しました。

住宅火災警報器設置と消防団員の確保を問う



伊藤隆文(自由民主)

冬になり、火災が心配です。(ア)市内の火災原因別数、5年間の火災平均数。(イ)火災で高齢者、障害者等の被災防止対策は。(ウ)防災会活動は。(エ)住宅用火災警報器の設置義務化でその対策は。(オ)消防団員の確保に報酬アップが必要と思うかどうか。

個別支援計画で災害時に活用(ウ)地震等の助け合いや対応力の啓発。地域の自発的防災力向上。(エ)市報や消防署ホームページ更に町会の総会等で周知。アパート所有者等に説明会。機種は煙式。設置は全部屋と階段。火災死者の8割が発見遅れを徹底。開署10周年で関係団体が600個警報器を市に寄贈、75歳以上のみ世帯に一個無料設置。65歳以上や障害者には条件により火災安全システム事業実施。(オ)消防団充実が市民の安全・安心の基。団員は家族や地域の支援必要。少数で負担大、優遇措置検討。

総務部長 (ア)放火13件、ガスやストーブ6件、たばこ3件。5年間の平均41・4件。(イ)要介護3以上や身体・知的・精神各障害者は程度により、75歳以上のみ世帯の情報消消防署、民生委員と行政で共有し、支援要請者に民生委員の

駅前市役所のメリットを生かすために



五十嵐京子(改革連合)

武蔵小金井駅南口再開発の第2地区には、平成12年に蛇の目跡地を資産として活用し、市役所を入れる方針が示され、現在都市再生機構の回答を待っているところである。

(ア)改めて市の方針は。(イ)市民が駅前に望む公益施設をどのように把握しているか。(ウ)市民要望の多い図書館などを駅前市役所に入れることについて、市民にメリットがあるのではないか。

能の強化、各施設間のネットワーク形成、少子高齢化に対応する機能、都市型居住空間の提供を設定し、今日に至っている。

企画財政部長 (イ)最近の調査では駅前駐輪場とともに、図書館や各種福祉施設等を望む声が多い。

市長 (ウ)これからの市役所は、交流の場として市民に喜んでいただき、さらに活用しやすい機能を持たせるよう検討していきたい。

安心して子どもを生み育てられる小金井市に



鈴木洋子(公明党)

①日本では少子化に歯止めがかからず、2000年以降合計特殊出生率は1・3前後を横ばいした状況が続いている。本市では、平成13年から乳幼児医療費無料化を実施し、現在は就学前まで拡充しているが、来年から計画されている都の中学生までの義務教育就学児医療費助成制度に合わせ、小学生低学年の無料化はできないか。

働者は、厳しい局面に不安を抱いて暮らしている。公明党が提案し、政府が対応した「緊急保証制度」があるが、国の緊急保証制度の対応と小口事業資金融資の実態と支援強化は。

経済課長 今後、商工会とも連携強化し、十分な受け入れ対応を図り、更なる周知徹底に努めたい。

⑤長年の懸案である小金井公園正面入口付近の玉川上水の人道橋設置は遅々として進まないが市の対応は。

市長 実現に向かっています。かり取り組んでいきたい。

市長 財政状況も見ながら検討していきたい。

②アメリカ発の金融危機は、日本でも実態経済として現れ始め、中小企業の経営者や労